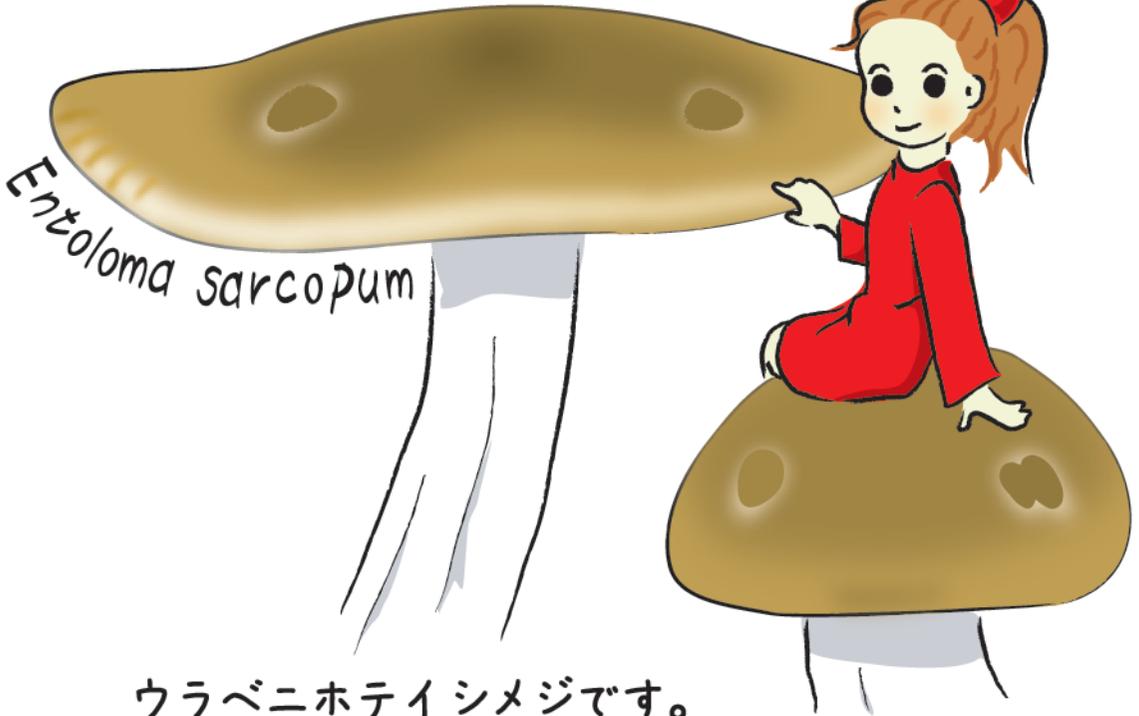


森のおくりもの 10月



ウラベニホテイシメジです。
イッポンシメジと呼ばないで!

イラスト：林 義雄

秋本番です。自然観察の森は、秋の深まりとともにその装いを大きく変化しつつあります。今年の秋もまたご来園いただき、森の秋を存分にお楽しみいただきたいと願っております。（菊池）

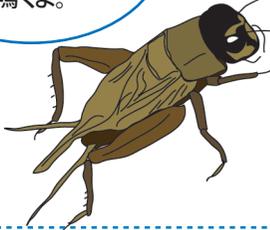
耳をすまして聞いてみよう 「秋の鳴く虫」の仲間



だんだん秋めいてきた観察の森では、虫たちの音楽会が行われています。鳴いている姿を目にすることは難しいですが、少し耳をすますと、たくさんの虫たちの演奏が聴こえてきますよ。（鳴いているのはすべてオスです。）

いろいろ鳴いてる秋の虫

メスがそばにいとやさしく鳴いて、別のオスが近くになるとキツク鳴くよ。



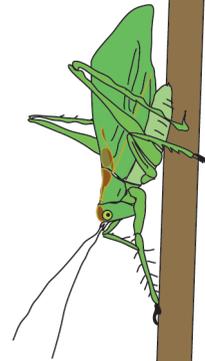
エンマコオロギ

センター前の芝生広場でもっとも普通にみられるコオロギ。

閻魔大王の顔に似ていることからこんな名前がついたそうです。体が2.5センチくらいあり、大きく目立つので、捕まえて顔を見てみましょう。

ハヤシノウマオイ

♪後からウマオイ追いついて～
チンチンチンチンスイッチョン♪と、歌にもあるように「スイッチョン」と鳴きます。頭の後ろの茶色いスジが目までつながっているのが特徴です。前足がトゲトゲしていて、他の虫を捕まえて食べます。



ハラオカメコオロギ

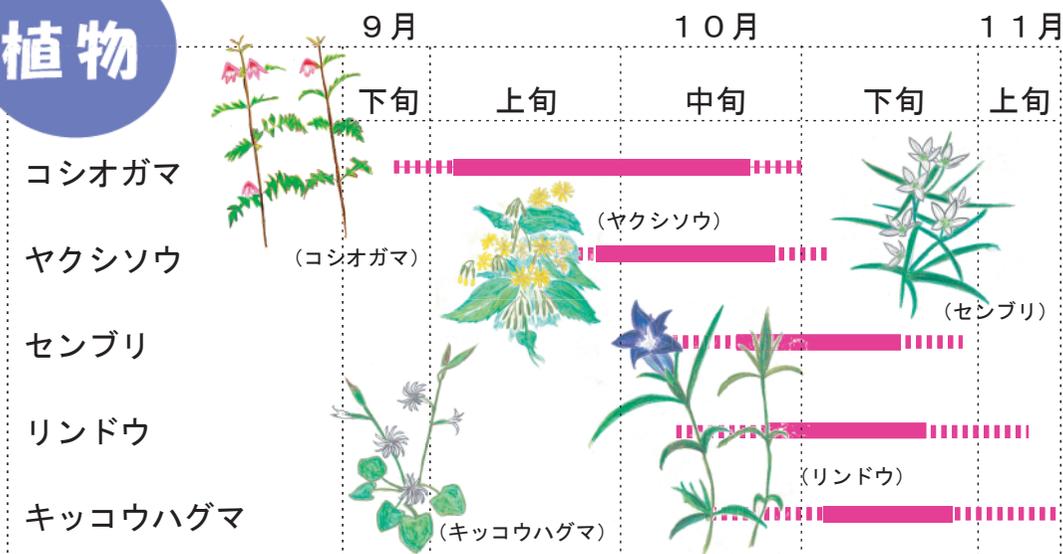
顔が「おかめ」のように平べったいところから名前がついたようです。オスは特に平べったい顔をしています。ビビビ、ビビビと3回ほど区切って鳴くのが特徴です。センター前の芝生広場でよく見られます。

【文・イラスト：黒川】

10月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

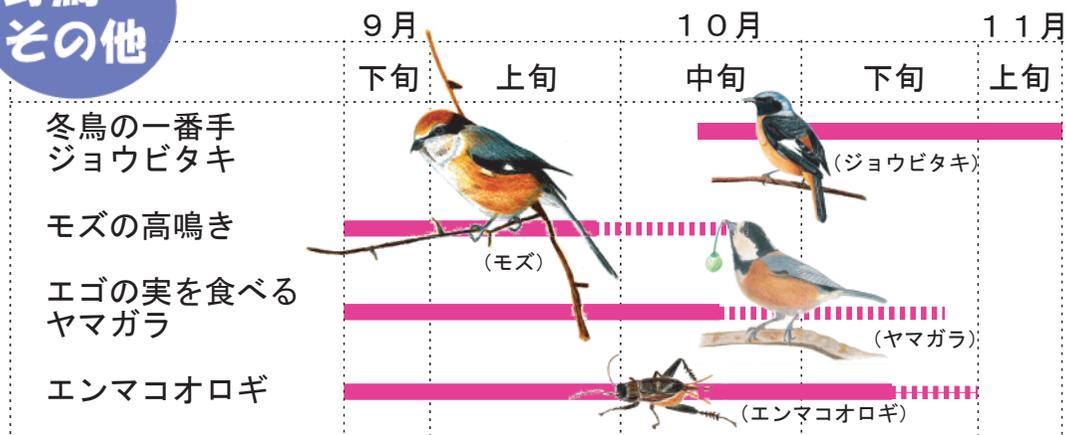
植物



植物の開花情報もこの10月で最後になります。上にあげた花たちが咲き終わると景色はすっかり秋のなり、その後雪が降りさむ〜い冬がやってきてこの一年も終わりに……。そんなことを書いていると今年もあつという間に終わってしまいますね（笑）

毎年10月の中頃には冬鳥の一番手『ジョウビタキ』の姿を観ることが出来ます。昨年その姿を確認できたのは10月17日でした。お客さんからの情報では9月の中頃に太白山でみたよ。という話を聞きました。がセンターではまだ確認していません。【イラスト・文：齋】

野鳥 その他



みんなで自然観察

9月と言えば、ハリガネムシですね。他にもいろいろありますが、一番インパクトがあるのは、やっぱりハリガネムシではないでしょうか。ハリガネムシは、カマキリの寄生虫として有名ですが、バッタやキリギリスの仲間に広く寄生しています。カマドウマなんかも、寄生率の高い宿主です。雌雄異体で水中に産卵し、孵化した幼虫が、水生昆虫などに餌と共に飲み込まれることで寄生します。さらに、カゲロウなどの宿主が成虫となり飛び立った後、陸上でカマキリなどに食べられることで、体の大きな宿主に移動し成虫まで育ちます。ハリガネムシは、体をくねらせる以外にほとんど運動能力を持たないため、宿主をコントロールして

水辺に誘導します。そして宿主が水に入ったのを感じ取ると、宿主の体内から外に脱出するというわけです。このハリガネムシがうごめく姿をよく見られるのが、8月の終わりごろから9月中で、ヨシの湿地や、雨でできた水たまりなどで見ることができます。力なく道路をさまようカマキリのお尻を水に浸けて、強制的に出すこともできます。観察センターでは、秋の鳴く虫を各種展示していますが、8月27日に齋レンジャーがこれら鳴く虫の世話をしているときに、ヤブキリのかごから干からびたハリガネムシが突き出ているのを発見しました。一見死んでいるようにも見えましたが、齋レンジャーが水に入れたところ、ゾンビのように復活しました。9月11日の午前中に死ぬまで、玄関付近に展示していたので見た人もたくさんいたと思います。私のガイドウォークでも、ヨシの湿地で観察したことがあります。触ると爪の隙間から入ってくるという都市伝説もありますが、人体には無害なので、怖がらずに観察してみてください。子供たちも、面白がって触っていましたよ。



【イラスト・文：林】

宿主：「しゅくしゅ」と読みます。

9月11日の午後のガイドウォークでテンが出ました！ 冬虫夏草も出てますよ！

秋はやっぱりキノコかな、でも・・・



10月に入りめっきり秋らしくなってきました。秋という私はキノコをまっ先に思いうかべてしまいます。しかし、最近では多くの養殖のキノコが季節に関係なく出まわっており、秋とキノコの関連がだんだん薄れてきているようにも感じられます。それでも野山では、いろいろなキノコが待ちかねていたかのように出てたくさん見ることができるのもこの季節です。

当自然観察の森の園内でも多くのキノコが見られるようになってきておりますが、このごろ少々気がかりなことがあります。それは、昔から食用のキノコとして安全とされてきている種類でも、新しいキノコの本などでは「要注意」や「毒性あり」に分類されているものがしだいに多くなってきていることです。

その例として、この辺の里山で普通にたくさん採れ、ごく一般的な食用キノコとして仙台周辺では「ヤマドリモタシ」などとして知られる「クリタケ」、また、「ツバオリミキ」、「ヨシタケ」などとして知られる「ナラタケ」が残念ながら「要注意」や「毒性あり」などに分類されてきております。

これらのキノコは、昔から消化が悪いので過食するとおなかをこわすといわれておりましたが、実は微量の毒成分が含まれており、たくさん食べることで限度を超え中毒していた可能性も否定できないようです。また、これらのキノコについては、加熱不足で胃腸系の中毒をおこすことも指摘されております。

さらに、最近になり生食や加熱不足で中毒をおこす多くの食用のキノコがわかってきており、これらもまた「毒キノコ」や「食べ方に注意」などに分類されております。食生活の西洋化のためなのかよくわかりませんが、キノコを野菜と同様と考え生で食べてしまい中毒を起こすことが増えてきているようです。このように生食などで中毒を起こすとされているキノコとしては、ムラサキシメジ、ミネシメジ、ハラタケモドキなどがあり要注意です。そのほかにも、最近になって毒成分が確認され、「毒キノコ」に加わってしまったものも多数ありますのでこれらについても要注意です。

今年も当自然観察の森の園内ではたくさんのキノコが観察できるものと思っておりますが、できるだけ多くの方々に見て楽しんでいただけるよう採取禁止にしておりますのでご協力をお願いいたします。(菊池)

10月の催し

申 し込み⇒ 8日9時から電話で受付

10/22 (土)
10:00~11:30

『きのこ観察会』



雑木林に生えるきのこを観察します。

申 【定員】20名
【持ち物】雨具、動きやすい服装で

10/29 (土)
9:30~15:30

『紅葉の蕃山を感じてみよう』

申 【定員】20名
【持ち物】弁当、雨具、観察用具、山登りできる服装で

秋の蕃山にゆっくり登りながら自然観察します。
*集合場所は「**茂庭台市民センター**」です。
詳細は自然観察センターにお問合せ下さい。

(日) 曜
は

『ガイドウォーク』の日!

10月のテーマは『たねの旅立ち』です

2日, 9日, 16日, 23日, 30日

10:00~11:30, 13:30~15:00

*申し込みの必要はありません。
センター前にお集まりください。



11/10 より
20周年記念
「太白山いまむかし」
写真展を開催します!
見に来てね!



休館日

3日, 17日, 24日, 31日

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2011年10月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

森のおくりものバックナンバー → <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>